

Ⅲ 研究ノート Ⅲ

消費に対する基本的態度調査(平成21年度調査A)

～単純集計結果報告書～

柳 田 卓 爾

【目次】

- I. 調査概要
 - 1. 調査の目的
 - 2. 調査の方法
- II. 単純集計結果
 - 1. 個人属性
 - 2. 消費の基本的態度

I. 調査概要

1. 調査の目的

質問紙調査を通じて、消費に対する基本的態度を統計的手法により明らかにすることを目的とする。

2. 調査の方法

回答者

回答者は、山口大学の学生152名(男性77名, 女性75名, 平均年齢19.6歳)。流通システム講座設置の講義を受講している学生で、経済学部生が受講生の中心であった。

全回答者152名のうち、年齢が25歳以上の回答者1名および外国からの留学生3名は、分析の対象外とした。次に、明らかな虚偽回答を含むと判断された回答者や、調査項目の全てに回答していない回答者を除いた。最終的に、

146名が有効回答者となった。内訳は男性74名、女性72名、平均年齢は19.5歳（19歳～23歳）であった。

調査日

2009年4月21日であった。

調査方法

個別自記入形式の質問紙を用いて、集団調査形式で実施された。回答は、無記名で行われた。講義の終わり15分を用いて、筆者の依頼に応じて回答した。回答依頼時に、文書（質問紙表紙）と口頭で説明合意を得た。謝礼は提示していない。実施時間は、10～15分であった。

質問項目

「1. 個人属性」に関しては、性別、年齢、出身都道府県、最終学歴、既婚・未婚、お小遣い金額の記入を求めた。「2. 消費に対する基本的態度」に関しては、消費に関連する30個の意見項目について、「そう思う」、「どちらかというと思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の5件法で回答を求めた。30個の意見項目については、新聞記事、雑誌記事などを参考にして、筆者が作成した。

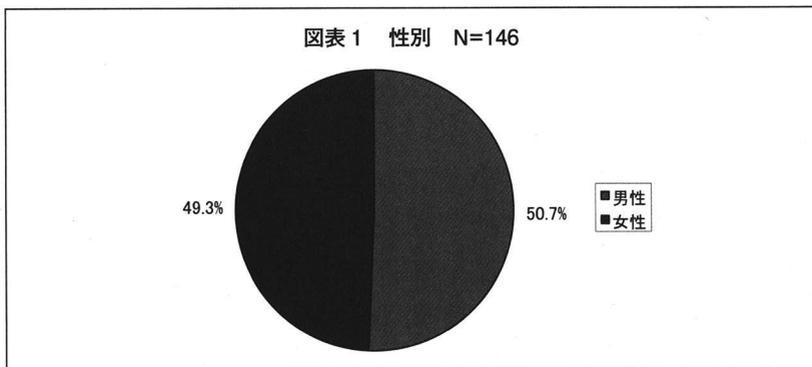
質問紙そのものは、研究ノート末尾を参照のこと。

II. 単純集計結果

1. 個人属性

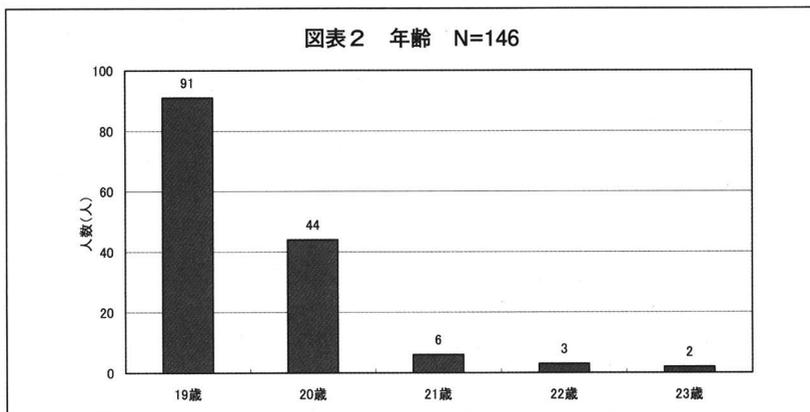
個人属性に関する単純集計結果を記述する。

1-1. あなたの、性別をお答えください。



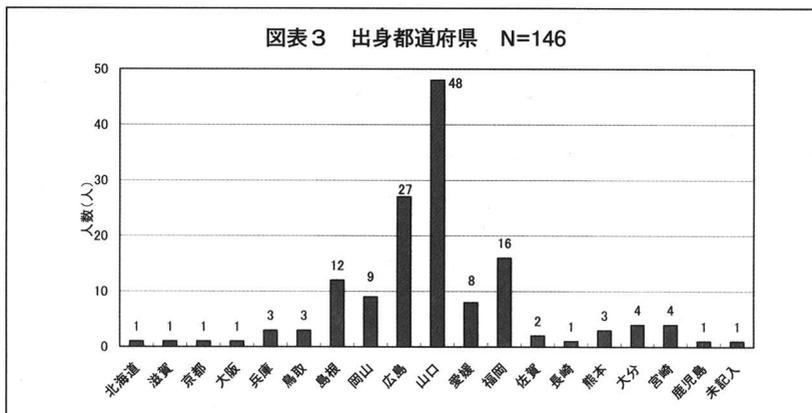
男性74名 (50.7%)、女性72名 (49.3%) であった。() 内は、有効回答者数に占める割合である。以下同じ。

1-2. あなたの、年齢をお答えください。(2009年4月2日時点での年齢をお答えください。)



19歳と回答した学生が91名 (62.3%) で最頻値であった。20歳と回答した44名 (30.1%) と合すると、9割を占めた。大半が、2, 3年生の学生であったと思われる。平均年齢は19.5歳、標準偏差は0.79歳であった。

1-3. あなたの、出身都道府県をお答えください。



山口県が48名(32.9%)で最頻値であった。続いて、広島27名(18.5%), 福岡16名(11.0%)であった。これら3県で、有効回答者数の6割を超えた。未記入が、1名あった。

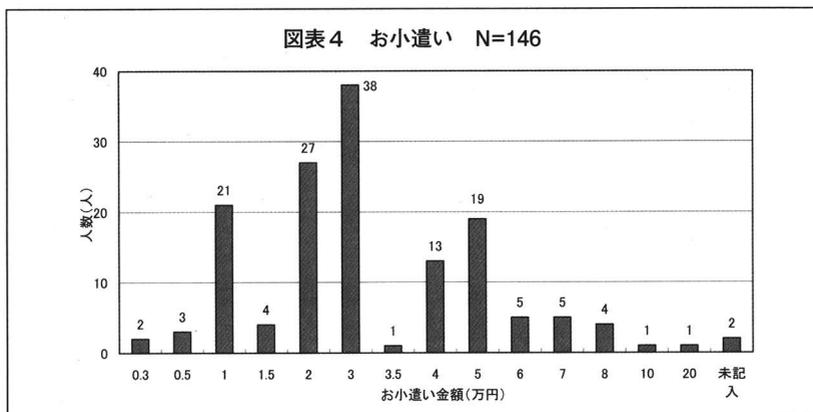
1-4. あなたが最後に行った学校(最終学歴)は、次のどれに当たりますか。
中退, 在学中も卒業と同じ扱いでお答えください。

学生サンプルであるので、全て 4. 大学 であった。

1-5. 現在、ご結婚されていますか。

この項目に関しては、不明瞭な回答があったので、記述を控えることとした。

1-6. あなたが自由に使うことのできるお金(いわゆる「お小遣い」)は、1ヶ月当たり、いくらですか。おおよその金額をお答えください。



未記入が2名あった。未記入を除いた144人の平均値は32,960円、標準偏差は23,548円であった。

2. 消費に対する基本的態度

消費に対する基本的態度の単純集計結果を記述する。はじめに、得点化の方法、平均値の傾向についての簡単な説明などを行う。次に、意見項目ごとに、回答の分布状況と記述統計量について説明する。簡単な考察を述べた項目もある。

「2. 消費の基本的態度」の意見項目について、質問紙での並び順に応じてQ1～Q30の連番を付与し、その内容が分かるように略称を付けた。記述統計量を含めて、図表5として、まとめた。なお、記述統計量の算出においては、質問紙の30項目について、「そう思う」を1点、「どちらかというと思う」を2点、「どちらとも言えない」を3点、「どちらかというと思わない」を4点、「そう思わない」を5点として得点化したものを利用した。

図表5 意見項目と記述統計量

連番	略称	意見項目	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
Q1	欲しいもの・幸せ	欲しいものが手に入れば、幸せになれる	146	1	5	1.75	0.801
Q2	良い商品・豊か	良い商品は人生を豊かにする	146	1	5	1.75	0.784
Q3	物・魂	物にも魂(たましい)が宿っている	146	1	5	2.69	1.195
Q4	希望	希望を持つことは大切だ	146	1	5	1.54	0.806
Q5	他人・運ったもの	他の人とは違った物を持つべきだ	146	1	5	2.49	0.991
Q6	自分の価値が高まる	良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる	146	1	5	2.55	1.226
Q7	自分と同じファッション	他人と同じファッションはかっこ悪い	146	1	5	2.97	1.101
Q8	新製品・生活改善	新製品は、生活を改善してくれる	146	1	5	2.44	0.932
Q9	積極的に消費	私たちが積極的に消費を行えば、経済は良くなっていく	146	1	5	1.84	0.749
Q10	個性的	個性的であることは良いことだ	146	1	5	2.69	1.067
Q11	魅力的	東京は魅力的なところだ	146	1	5	2.91	1.281
Q12	セレブ・あこがれ	セレブのような生活にあこがれる	146	1	5	1.80	0.980
Q13	ショッピング	ショッピング(買い物)は、とても大切な楽しみのひとつだ	146	1	5	1.91	0.870
Q14	社会は進歩	社会は進歩している	146	1	5	2.52	1.039
Q15	地位や役割	社会的な地位や役割にふさわしいものを持つべきだ	146	1	5	2.97	0.982
Q16	人まね・よくない	人まねはよくない	146	1	5	2.19	0.746
Q17	プレゼント・自分の気持ち	プレゼントを贈ることで、自分の気持ちが相手に伝わる	146	1	5	2.77	1.017
Q18	流行・好き	流行しているものが好きだ	146	1	5	3.08	1.300
Q19	高級ブランド・素敵	やっぱり高級ブランドは素敵だ	146	1	5	2.01	0.809
Q20	困難・何とかなる	どんな困難であっても、人生は何とかなるものだ	146	1	4	2.70	0.866
Q21	将来・明るい	私の将来は明るい	146	1	5	2.89	1.221
Q22	有名人やセレブ	有名人やセレブのファッションが気になる	146	1	5	3.26	1.070
Q23	持ち物・判断	持ち物を見て、その人がどんな人物かを判断してもよい	146	1	5	2.34	1.012
Q24	自分の趣味や好み	自分の趣味や好みに合わないものは、絶対に買わない	146	1	5	2.88	1.030
Q25	身の丈	身の丈(みのたけ)に合わないものを持つことはみっともない	146	1	5	2.27	0.934
Q26	夢は叶う	努力すれば、夢は叶う(かなう)	146	1	5	3.02	0.883
Q27	右肩上がり	人生は右肩上がりだ	146	1	5	1.82	0.695
Q28	ライフスタイル	自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりは大切だ	146	1	4	3.30	0.985
Q29	新製品・チェック	新製品のチェックは欠かせない	146	1	5	2.72	1.173
Q30	浪費	浪費(無駄遣い)にも、何らかのメリットがある	146	1	5		

「そう思う」、「どちらかというと思う」を合わせて「肯定的回答」、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」を合わせて「否定的回答」、「どちらとも言えない」を「中立的回答」と呼ぶとすると（以下、同じ）、全体の回答は、肯定的回答への偏りがあった。項目得点の平均値が小さいほど、肯定的回答への偏りがあることになる。反対に、大きいほど、否定的回答への偏りがあることになる。

肯定的回答へかなりの偏りを持つ1点台の意見項目は、Q1「欲しいものが手に入れば、幸せになれる」(1.75点)、Q2「良い商品は人生を豊かにする」(1.75点)、Q4「希望を持つことは大切だ」(1.54点)、Q10「個性的であることは良いことだ」(1.84点)、Q13「ショッピング（買い物）は、とても大切な楽しみのひとつだ」(1.80点)、Q14「社会は進歩している」(1.91点)、Q28「自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりは大切だ」(1.82点)の7項目であった。

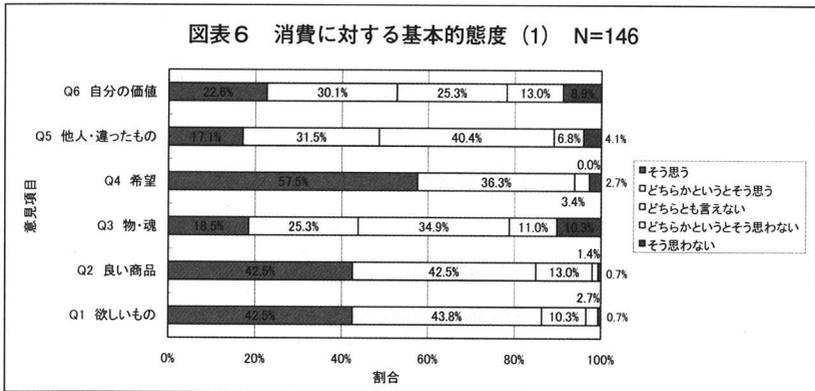
否定的回答への偏りを持つ、項目得点の平均値が3点以上の意見項目は、Q19「やっぱり高級ブランドは素敵だ」(3.08点)、Q23「持ち物を見て、その人がどんな人物かを判断してもよい」(3.26点)、Q27「人生は右肩上がりだ」(3.02点)、Q29「新製品のチェックは欠かせない」(3.30点)の4項目であった。最大値で3.30点であり、3点台後半はもちろん、4点台もなかった。否定的回答の中でも、肯定的回答への偏りが見られた。2点台は、残りの19項目であった。

散らばり具合が比較的大きかった（標準偏差1.2以上）意見項目は、Q6「良い物を買くと、自分の価値が高まった気持ちになる」(1.226点)、Q12「セレブのような生活にあこがれる」(1.281点)、Q19「やっぱり高級ブランドは素敵だ」(1.300点)、Q22「有名人やモデルのファッションが気になる」(1.221点)の4項目であった。Q12、Q19、Q22の意見項目を、華麗な消費生活への憧れ、あるいは「バブル的な」消費の肯定を示唆していると解釈するならば、そのような消費行動への評価は、今回のサンプルの若者の間では、まちまちであるようだ。

散らばり具合が比較的小さかった（標準偏差0.8未満）意見項目は、Q2「良い商品は人生を豊かにする」（0.784点）、Q10「個性的であることは良いことだ」（0.749点）、Q17「プレゼントを贈ることで、自分の気持ちが相手に伝わる」（0.746点）、Q28「自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりは大切だ」（0.695点）の4項目であった。Q2、Q10、Q28の意見項目は、平均値が低く、標準偏差が小さかった。つまり、これらの意見項目への態度は、肯定的に偏っていた。Q10、Q28の意見項目を、自分自身へのこだわりを示唆していると解釈するならば、今回のサンプルの若者の間では、自分自身への強いこだわりを持つ者が、かなり多いようだ。

0.8点以上1.2点未満は、残りの22項目であった。

以下の意見項目ごとの説明では、平均値が1点台の場合は「肯定的回答にかなり偏った」、2点以上2.5点未満の場合は「肯定的回答に偏った」、2.5点以上2.9点未満の場合は「肯定的回答にやや偏った」、2.9点以上3.1点未満の場合は「ほぼ中立的回答」、3.1点以上3.5点未満の場合は「否定的回答にやや偏った」と表現した。また、標準偏差が1点未満の場合は「集まって分布」、1点以上の場合は「散らばって分布」と表現した。



Q1 欲しいものが手に入れば、幸せになれる

肯定的回答をした学生が、126名（86.3%）と8割を超えた。否定的回答をした学生は、5名（3.4%）であった。中立的回答は、15名（10.3%）だった。項目得点の平均値は1.75点、標準偏差は0.801点であった。回答は、肯定的回答にかなり偏った辺りに、集まって分布していた。

年齢を重ねると、「欲しいものを手に入れても、幸せになるとは限らない」と考えることが多くなるかもしれない。今回のデータの偏りは、その意味で「若さ」が示唆されていると考えることも可能であろう。

Q2 良い商品は人生を豊かにする

肯定的回答をした学生が、124名（85%）と8割を超えた。否定的回答をした学生は、3名（2.1%）であった。中立的回答は、19名（13%）だった。項目得点の平均値は1.75点、標準偏差が0.784点であった。回答は、肯定的回答にかなり偏った辺りに、集まって分布していた。

「心の豊かさ」が重要であることは確かである。しかし、だからといって「物質的な豊かさ」を軽視しているわけではなさそうである。

Q3 物にも魂（たましい）が宿っている

肯定的回答をした学生が、64名（43.8%）であった。否定的回答をした学生は31名（21.3%）であった。中立的回答は、51名（34.9%）だった。項目得点の平均値は2.69点、標準偏差は1.195点であった。回答は、肯定的回答にやや偏った辺りを中心に、散らばって分布していた。

Q4 希望を持つことは大切だ

肯定的回答をした学生が、137名（93.8%）と9割を超えた。否定的回答をした学生は、4名（2.7%）であった。中立的回答は、5名（3.4%）だった。項目得点の平均値は1.54点、標準偏差は0.806点であった。回答は、肯定的回答にかなり偏った辺りに、集まって分布していた。

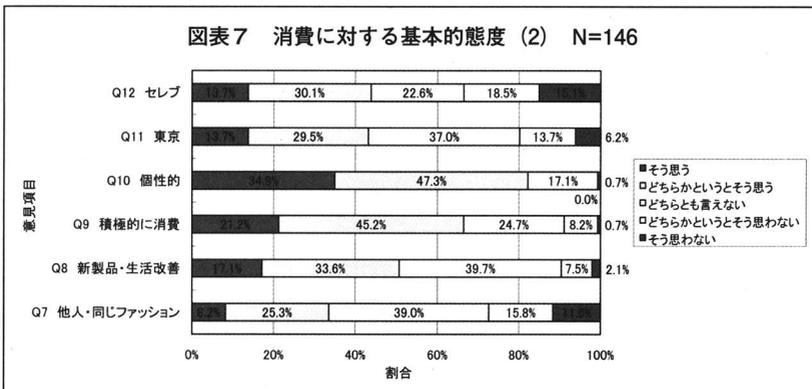
厳しい社会・経済的環境の現在にあっても、多くの若い人たちは、何らかの光明を感じなければならないと考えているのかもしれない。あるいは、希望や夢が大切であるという、巷にあふれている言説の影響を、素直に受けている結果であるとの解釈も可能であろう。

Q5 他の人とは違った物を持つべきだ

肯定的回答をした学生が、71名(48.6%)であった。否定的回答をした学生は、16名(10.9%)であった。中立的回答をした学生は、59名(40.4%)だった。項目得点の平均値は2.49点、標準偏差は0.991点であった。回答は、肯定的回答に偏った辺りに、集まって分布していた。

Q6 良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる

肯定的回答をした学生が、77名(52.7%)であった。否定的回答をした学生は、32名(21.9%)だった。中立的回答は、37名(25.3%)だった。項目得点の平均値は2.55点、標準偏差は1.226点であった。回答は、肯定的回答にやや偏った辺りを中心に、散らばって分布していた。



Q7 他人と同じファッションはかっこ悪い

肯定的回答をした学生が、49名（33.5%）であった。否定的回答をした学生は、40名（27.4%）であった。中立的回答は57名（39.0%）だった。項目得点の平均値は2.97点、標準偏差は1.101点であった。回答は、ほぼ中立的回答の辺りを中心に、散らばって分布していた。

個性を重視していると思われる若者の傾向を考えると、肯定的回答に偏るのではないかと予想していた。予想に反する結果であった。

Q8 新製品は、生活を改善してくれる

肯定的回答をした学生が、74名（50.7%）であった。否定的回答をした学生は、14名（9.6%）だった。中立的回答は、58名（39.7%）だった。項目得点の平均値は2.44点、標準偏差は0.932点であった。回答は、肯定的回答に偏った辺りに、集まって分布していた。

中立的回答が4割近くあったことは、注目に値するだろう。豊かな社会の中では、新製品が生活改善に結びつくことを、若い世代の消費者に説得することが難しくなっていることを示唆しているデータかもしれない。

Q9 私たちが積極的に消費を行えば、経済は良くなっていく

肯定的回答をした学生が、97名（66.4%）であった。否定的回答をした学生は、13名（8.9%）であった。中立的回答は、36名（24.7%）だった。項目得点の平均値は2.22点、標準偏差は0.898点であった。回答は、肯定的回答に偏った辺りに、集まって分布していた。

Q10 個性的であることは良いことだ

肯定的回答をした学生が、120名（82.2%）と8割を超えた。否定的回答をした学生は、1名（0.7%）だった。中立的回答は、25名（17.1%）であった。項目得点の平均値は1.84点、標準偏差は0.749点であった。回答は、肯定的回答にかなり偏った辺りに、集まって分布していた。

学生の多くが、自分自身の個性というものに、強いこだわりを持っていることを示唆しているデータかもしれない。

Q11 東京は魅力的なところだ

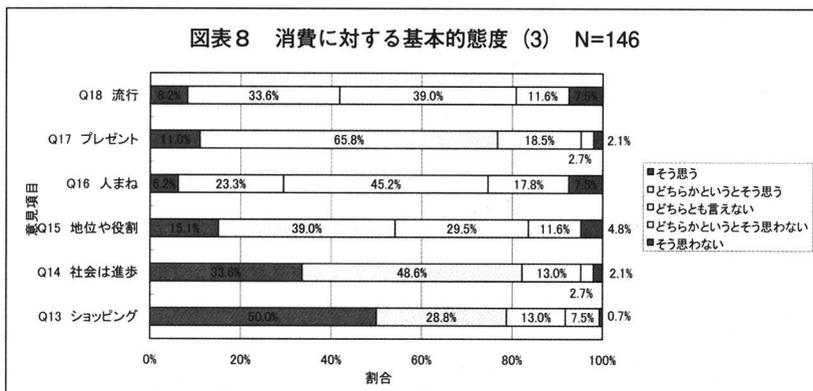
肯定的回答をした学生は、63名(43.2%)であった。否定的回答をした学生は、29名(19.9%)であった。中立的回答は、54名(37.0%)だった。項目得点の平均値は2.69点、標準偏差は1.067点であった。回答は、肯定的回答にやや偏った辺りを中心に、散らばって分布していた。

東京を魅力的と感じない学生が多いとまでは言えないかもしれない。しかし、中立的回答をした学生が4割近くであった点を考えると、地方の学生にとっての東京の魅力は、それほど大きくはないのかもしれない。

Q12 セレブのような生活にあこがれる

肯定的回答をした学生は、64名(43.8%)であった。否定的回答をした学生は、49名(33.6%)であった。中立的回答は、33名(22.6%)だった。項目得点の平均値は2.91点、標準偏差は1.281点であった。回答は、ほぼ中立的回答の辺りを中心に、散らばって分布していた。

セレブのような生活に対しては、多様な評価を下しているようであった。



Q13 ショッピング（買い物）は、とても大切な楽しみのひとつだ

肯定的回答をした学生が、115名（78.8%）であった。否定的回答をした学生は、12名（8.2%）であった。中立的回答は、19名（13.0%）だった。項目得点の平均値は1.80点、標準偏差は0.980点であった。回答は、肯定的回答にかなり偏った辺りに、集まって分布していた。

Q14 社会は進歩している

肯定的回答をした学生は、120名（82.2%）と8割を超えた。否定的回答をした学生は、7名（4.8%）であった。中立的回答は、19名（13.0%）だった。項目得点の平均値は1.91点、標準偏差は0.870点であった。回答は、肯定的回答にかなり偏った辺りに、集まって分布していた。

Q15 社会的な地位や役割にふさわしいものを持つべきだ

肯定的回答をした学生は、79名（54.1%）であった。否定的回答をした学生は、24名（16.4%）であった。中立的回答は、43名（29.5%）であった。項目得点の平均値は2.52点、標準偏差は1.039点であった。回答は、肯定的回答にやや偏った辺りを中心に、散らばって分布していた。

Q16 人まねはよくない

肯定的回答をした学生は、43名（29.5%）であった。否定的回答をした学生が、37名（25.3%）だった。中立的回答をした学生は、66名（45.2%）だった。項目得点の平均値は2.97点、標準偏差は0.982点であった。回答は、ほぼ中立的回答の辺りに、集まって分布していた。

Q17 プレゼントを贈ることで、自分の気持ちが相手に伝わる

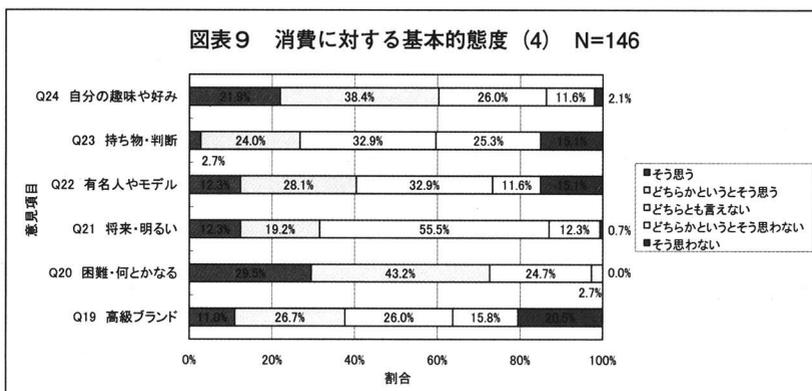
肯定的回答をした学生は、112名（76.8%）であった。否定的回答をした学生は、7名（4.8%）であった。中立的回答は、27名（18.5%）だった。項目得点の平均値は2.19点、標準偏差は0.746点であった。回答は、肯定的回答に

偏った辺りに、集まって分布していた。

多くの学生が、儀礼的行為を重視している表れであるかもしれない。

Q18 流行しているものが好きだ

肯定的回答をした学生が、61名(41.8%)であった。否定的回答をした学生は、28名(19.1%)であった。中立的回答は、57名(39.0%)だった。項目得点の平均値は2.77点、標準偏差は1.017点であった。回答は、肯定的回答にやや偏った辺りを中心に、散らばって分布していた。



Q19 やっぱ高級ブランドは素敵だ

肯定的回答をした学生は、55名(37.7%)であった。否定的回答をした学生は、53名(36.3%)であった。中立的回答は、38名(26.0%)であった。項目得点の平均値は3.08点、標準偏差は1.300点であった。回答は、ほぼ中立的回答の辺りを中心に、散らばって分布していた。

Q20 どんな困難であっても、人生は何とかなるものだ

肯定的回答をした学生は、106名(72.7%)であった。否定的回答をした学生は、4名(2.7%)であった。中立的回答は、36名(24.7%)だった。項目

得点の平均値は2.01点、標準偏差は0.809点であった。回答は、肯定的回答に偏った辺りに、集まって分布していた。

Q21 私の将来は明るい

肯定的回答をした学生は、46名（31.5%）であった。否定的回答をした学生は、19名（13.0%）だった。中立的回答は、81名（55.5%）だった。項目得点の平均値は2.70点、標準偏差は0.866点であった。回答は、肯定的回答にやや偏った辺りに、集まって分布していた。

中立的回答が多かったことから、私の将来は明るいと言い切ることができず、将来の不確かさを、身に染みて実感している表れだと解釈できるかもしれない。

Q22 有名人やモデルのファッションが気になる

肯定的回答をした学生が59名（40.4%）であった。否定的回答をした学生が、39名（26.7%）だった。中立的回答は、48名（32.9%）だった。項目得点の平均値は2.89点、標準偏差は1.221点であった。回答は、肯定的回答にやや偏った辺りを中心に、散らばって分布していた。

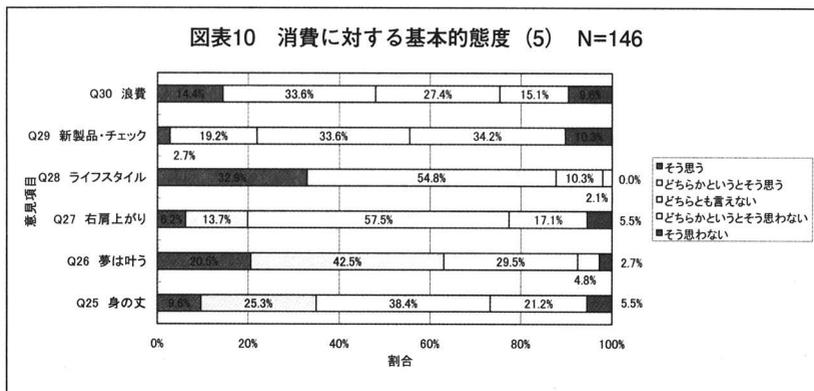
Q23 持ち物を見て、その人がどんな人物かを判断してもよい

肯定的回答をした学生が、39名（26.7%）であった。否定的回答をした学生は、59名（40.4%）だった。中立的回答は、48名（32.9%）だった。項目得点の平均値は3.26点、標準偏差は1.070点であった。回答は、否定的回答にやや偏った辺りを中心に、散らばって分布していた。

物質的なものに対して、相手の「人となり」という意味を見出すことには、どちらかというとな否定的であるようだ。あるいは、物質的な成功を、さほど高くは評価しないということなのかもしれない。

Q24 自分の趣味や好みに合わないものは、絶対に買わない

肯定的回答をした学生は、88名(60.3%)であった。否定的回答をした学生は、20名(13.7%)であった。中立的回答は、38名(26.0%)だった。項目得点の平均値は2.34点、標準偏差は1.012点であった。回答は、肯定的回答に偏った辺りを中心に、散らばって分布していた。



Q25 身の丈 (みのたけ) に合わないものを持つことはみっともない

肯定的回答をした学生は、51名(34.9%)であった。否定的回答をした学生は、39名(26.7%)であった。中立的回答は、56名(38.4%)だった。項目得点の平均値は2.88点、標準偏差は1.030点であった。回答は、肯定的回答にやや偏った辺りを中心に、散らばって分布していた。

Q26 努力すれば、夢は叶う (かなう)

肯定的回答をした学生が、92名(63.0%)と過半数を超えた。否定的回答をした学生は、11名(7.5%)だった。中立的回答は、43名(29.5%)だった。項目得点の平均値は2.27点、標準偏差は0.934点であった。回答は、肯定的回答に偏った辺りに、集まって分布していた。

Q27 人生は右肩上がりだ

肯定的回答をした学生は29名（19.9%）、否定的回答をした学生は33名（22.6%）であった。中立的回答をした学生が、84名（57.5%）と過半数を超えていた。項目得点の平均値は3.02点、標準偏差は0.883点であった。回答は、ほぼ中立的回答の辺りに、集まって分布していた。

中立的回答の多さに、将来に対する漠然とした不安、不確かさの認知が表れているのかもしれない。その一方で、「右肩上がり」という言葉を否定する言説が、巷にあふれていると考えられることから、その影響を受けていることも考えられる。

Q28 自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりは大切だ

肯定的回答をした学生が、128名（87.7%）だった。否定的回答をした学生は、3名（2.1%）だった。中立的回答は、15名（10.3%）だった。項目得点の平均値は1.82点、標準偏差は0.695点であった。回答は、肯定的回答にかなり偏った辺りに、集まって分布していた。

自分自身に対して、強いこだわりを持っていることが、回答者の特徴と言えるのかもしれない。

Q29 新製品のチェックは欠かせない

肯定的回答をした学生は、32名（21.9%）であった。否定的回答をした学生は、65名（44.5%）であった。中立的回答は、49名（33.6%）だった。項目得点の平均値は3.30点、標準偏差は0.985点であった。回答は、否定的回答にやや偏った辺りに、集まって分布していた。

新製品に対する関心が、平均的に見て、低いようであった。

Q30 浪費（無駄遣い）にも、何らかのメリットがある

肯定的回答をした学生は、70名（48.0%）であった。否定的回答をした学生は、36名（24.7%）であった。中立的回答、40名（27.4%）だった。項目得点の平均値は2.72点、標準偏差は1.173点であった。回答は、肯定的回答にやや偏っ

た辺りを中心に、散らばって分布していた。

本研究は、科学研究費補助金（課題番号19653031）の助成を受けたものである。

(以上)

「消費に対する基本的態度」に関する研究調査」(Version 1.4)

平成21年度調査

調査協力をお願い

皆様におかれましては、新年度を迎えられ、ますますご健勝のことと存じます。

本調査は、消費に対する基本的態度を統計的手法により明らかにすることを目的として行う研究調査です。本調査から知り得た情報は統計的な処理を施しますので、個人が特定されることは一切ありません。また、研究調査目的以外に利用することはありません。

なお、アンケートの集計結果につきましては、研究論文というかたちで公表させていただきます。

皆様の率直なご意見を回答していただければ幸いです。

お忙しいところ、大変申し訳ありませんが、何卒ご協力をお願いいたします。

本調査は、科学研究費補助金（課題番号19653031，平成19～21年度）を受けた研究の一部として実施しています。

【研究代表者】

〒753-8514 山口県山口市吉田1677-1

山口大学経済学部 准教授

柳田 卓爾（やなぎだ たくじ）

☆☆☆ 回答方法のご説明 ☆☆☆

この質問票は、全部で8ページ(表紙を含む)あります。それぞれの質問文を読み、選択肢から適切なものと思われる番号を選び、直接○をつけてください。以下では、この質問票の回答方法について、ご説明いたします。最初に必ずご一読ください。

<回答例1> 通常タイプの質問への回答方法

質問文を読み、選択肢の番号に直接○をつけてください。

あなたの、性別をお答えください。

① 男性 2. 女性

<回答例2> 表形式の質問への回答方法

※回答方法に注意してください!

説明：意見項目に書かれている意見について、あなたはどのように思いますか。該当する選択肢の番号に直接○をつけてください。

意見項目 \ 賛成・反対の程度	1. そう思う	2. どちらかというと思う	3. どちらとも言えない	4. どちらかというと思わない	5. そう思わない
良い商品は人生を豊かにする	①	2	3	4	5
身の丈(みのたけ)に合わないものを持つことはみっともない	1	2	③	4	5

<回答例3> 記述回答欄への回答方法

回答欄におさまるように、わかりやすい字で、お書きください。

あなたの、出身都道府県をお答えください。

山 口 県

ご協力いただける場合は、次のページからの質問に回答してください。それでは、よろしくお願ひ致します。

☆☆☆ 質問項目 ☆☆☆

【個人属性】

1. 最初に、あなたご自身についてお聞きします。

1-1. あなたの、性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

1-2. あなたの、年齢をお答えください。

(2009年4月2日時点での年齢をお答えください。)

	歳
--	---

1-3. あなたの、出身都道府県をお答えください。

--

1-4. あなたが最後に行った学校（最終学歴）は、次のどれに当たりますか。中退、
在学中も卒業と同じ扱いでお答えください。

1. 中学 2. 高等学校 3. 短大・高専・各種専門学校（高等学校卒業後）
4. 大学 5. 大学院 6. その他

1-5. 現在、ご結婚されていますか。

1. 既婚 2. 未婚（結婚経験あり） 3. 未婚（結婚経験なし）

1-6. あなたが消費のために自由に使うことのできるお金（いわゆる「お小遣い」、
貯金する分は除く）は、1ヶ月当たり、いくらですか。おおよその金額をお答
えください。

	万円
--	----

【消費に対する基本的態度】

2. 次に、消費に関連する様々な意見について、あなたがどのように思われるかをお聞きます。意見項目に書かれている意見に関して、もっともびったりする選択肢の番号に直接○をしてください。(回答の仕方は、2ページの回答例2を参考にしてください。)

意見項目	賛成・反対の程度				
	1. そう思う	2. どちらかというと思う	3. どちらとも言えない	4. どちらかというと思わない	5. そう思わない
欲しいものが手に入れば、幸せになれる	1	2	3	4	5
良い商品は人生を豊かにする	1	2	3	4	5
物にも魂(たましい)が宿っている	1	2	3	4	5
希望を持つことは大切だ	1	2	3	4	5
他の人とは違った物を持つべきだ	1	2	3	4	5
良い物を買くと、自分の価値が高まった気持ちになる	1	2	3	4	5
他人と同じファッションはかっこ悪い	1	2	3	4	5
新製品は、生活を改善してくれる	1	2	3	4	5
私たちが積極的に消費を行えば、経済は良くなっていく	1	2	3	4	5

賛成・反対の程度 意見項目	1. そう思う	2. どちらかという とそう思う	3. どちらとも 言えない	4. どちらかという とそう思わない	5. そう思わない
個性的であることは良いことだ	1	2	3	4	5
東京は魅力的なところだ	1	2	3	4	5
セレブのような生活にあこがれる	1	2	3	4	5
ショッピング（買い物）は、とても大切な楽しみのひとつだ	1	2	3	4	5
社会は進歩している	1	2	3	4	5
社会的な地位や役割にふさわしいものを持つべきだ	1	2	3	4	5
人まねはよくない	1	2	3	4	5
プレゼントを贈ることで、自分の気持ちが相手に伝わる	1	2	3	4	5
流行しているものが好きだ	1	2	3	4	5
やっぱり高級ブランドは素敵だ	1	2	3	4	5
どんな困難であっても、人生は何とかなるものだ	1	2	3	4	5

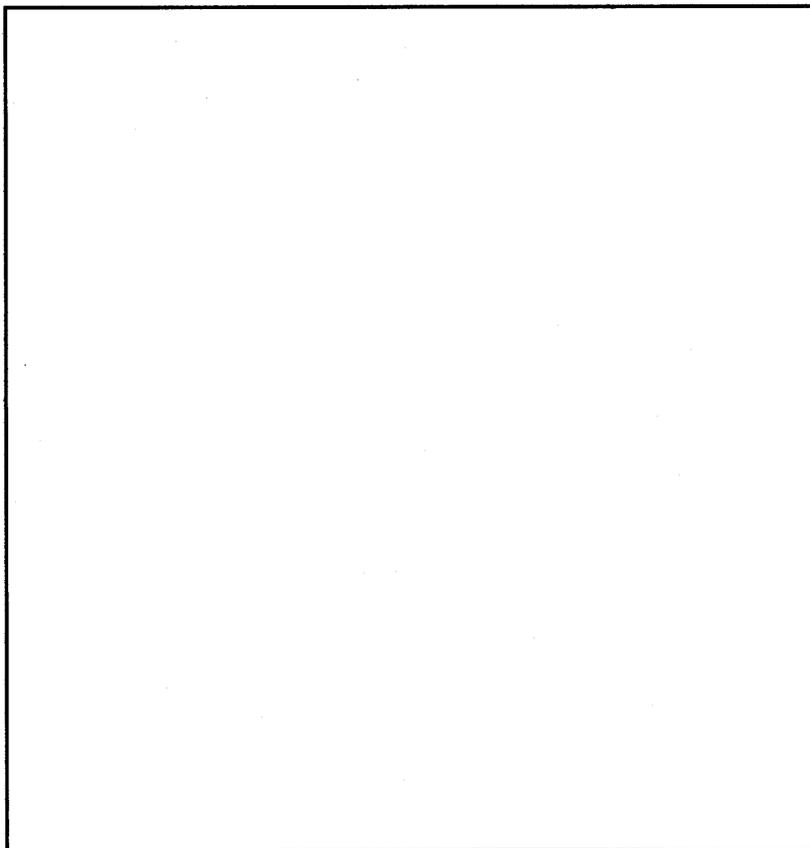
賛成・反対の程度 意見項目	1.そう思う	2.どちらかとい うとそう 思う	3.どちらとも 言えない	4.どちらかとい うとそう 思わない	5.そう思わな い
私の将来は明るい	1	2	3	4	5
有名人やモデルのファッ ションが気になる	1	2	3	4	5
持ち物を見て、その人が どんな人物かを判断して もよい	1	2	3	4	5
自分の趣味や好みに合わ ないものは、絶対に買わ ない	1	2	3	4	5
身の丈（みのたけ）に合 わないものを持つことは みっともない	1	2	3	4	5
努力すれば、夢は叶う(か なう)	1	2	3	4	5
人生は右肩上がりだ	1	2	3	4	5
自分らしいライフスタイ ル・生き方へのこだわり は大切だ	1	2	3	4	5
新製品のチェックは欠か せない	1	2	3	4	5
浪費（無駄遣い）にも、 何らかのメリットがある	1	2	3	4	5

これで質問は終わりです。長い間、面倒な質問に回答していただきまして、ありがとうございました。大変恐縮ですが、初めに戻って、記入漏れや書き間違いがないかどうか、もう一度、ご確認をお願い致します。

皆様からいただきましたご回答は、学術研究における貴重な資料として活用させていただきます。

なお、本調査についてのご意見や感想、消費に関するご意見などを、以下にご記入いただければ幸いです。書ききれない場合は、余白や別紙にお書きいただいても構いません。

【自由記入欄】

A large empty rectangular box with a black border, intended for free text entry. The box is currently blank.